

デザイン×福祉

～ 現場の「困った」を、次の「使いたい」へ。～

— デザインの力で考える福祉製品勉強会を開催します！

川崎市と東京科学大学・産業技術総合研究所は、共同運営する福祉製品等の開発支援拠点 Kawasaki Welfare Technology Lab(ウェルテック)と川崎市総合リハビリテーション推進センターの連携事業として、11月18日(水)及び26日(木)に、「デザイン×福祉製品」をテーマとした勉強会を開催します。

本勉強会では、福祉製品におけるデザインの役割や考え方を学ぶとともに、参加者同士の対話やワークショップを通じて、現場の「困った」を起点に新たな福祉製品・サービスの可能性を考えます。異なる専門性を持つ参加者が相互理解を深めることで、現場起点の製品開発、さらには福祉分野におけるイノベーションの創出につなげることを目指します。

1 開催概要

開催日時 ※全2回の連続プログラムです。

《第1回》 令和8年11月18日(水)13:30～16:30(受付開始 13:00～)

《第2回》 令和8年11月26日(木)13:30～16:30(受付開始 13:00～)

会場 《第1・2回共通》

川崎市複合福祉センター「ふくふく」1階 地域交流スペース

〒210-0024 川崎市川崎区日進町 5-1

主催

川崎市・東京科学大学・産業技術総合研究所

WHILL 新製品の
試乗も行います！



2 主な内容(予定)

講演 マナブデザイン株式会社 代表取締役 ^{たかはし まなぶ} 高橋 学氏

「いつものこと」に、課題は隠れている。—現場の違和感から考えるデザインの視点

WHILL 株式会社 執行役員 ^{いけだ ともひろ} メディカル事業本部 本部長 池田 朋宏氏

デザインとテクノロジーが叶える移動支援のかたち

～利用者の自立と支援者のケアを両立する電動モビリティ～

国立大学法人東京科学大学 工学院機械系 教授 ^{にしだ よしふみ} 西田 佳史氏

生活セントリックデザイン思考と ABC 理論

ワークショップ 現場の声から、可能性を考える

現場の困りごとを起点に、多職種で解決に向けた次の一步を考えます。

3 定 員 30 名程度

4 参 加 費 無料

5 参加申込(先着順)

申込フォーム <https://logoform.jp/f/f6LXT>

申込期限 令和8年11月9日(月)

申込フォーム



(参考)Kawasaki Welfare Technology Lab(ウエルテック)

ホームページ <https://www.kawasaki-weltech.com/>

ウエルテック



問合せ先

川崎市経済労働局イノベーション推進部 野本

電 話:044-200-2339 内線 28302

デザイン × 福祉製品

現場の「困った」を、次の「使いたい」へ。

現場の声が、
新しい
アイデアの
きっかけに。

福祉の
これからを
一緒に考えよう！



その困りごと、デザインを使って考えてみませんか。

福祉現場には、日々の支援や暮らしの中で生まれるさまざまな困りごとや工夫があります。
この勉強会では、福祉職・企業・デザイナーがそれぞれの視点を持ち寄り、現場の声を整理し、
これからの福祉製品やサービスの可能性を一緒に考えます。

対象

福祉専門職
製品開発企業
デザイナー 等

定員

30名程度

1日目 令和8年 11月18日 水 受付開始時間 13:00

デザインの視点を知る・感じる

講演や製品利用体験を通じて、福祉製品におけるデザインの役割や
使う人の視点・開発者の視点を学びます。

最後に、2日目に取り組むテーマをグループで共有します。

プログラム (約180分)

- 1 マナブデザイン株式会社 代表取締役 高橋 学 氏
「いつものこと」に、課題は隠れている。
ー 現場の違和感から考えるデザインの視点 ー
- 2 WHILL株式会社 執行役員
メディカル事業本部 本部長 池田 朋宏 氏
デザインとテクノロジーが叶える移動支援のかたち
～利用者の自立と支援者のケアを両立する電動モビリティ～
+ 最新モデル WHILL Model C Lite 試乗体験
- 3 国立大学法人 東京科学大学 工学院機械系
西田 佳史 教授
生活セントリックデザイン思考とABC理論
- 4 グループで次回のテーマを共有・決定

2日目 令和8年 11月26日 木 受付開始時間 13:00

現場の声から、可能性を考える

現場の困りごとを持ち寄り、福祉職・企業・デザイナーと一緒に
考える共創ワークショップを行います。

製品やサービスの方向性を探り、次の一歩につなげます。

共創ワークショップ (約180分)

- 1 困りごとを持ち寄る
誰の、どんな場面の課題かを共有
- 2 背景を探り、問いをつくる
事実を整理し、本当のニーズを探る
- 3 視点を変えて、可能性を広げる
違う立場から考え、アイデアを出し合う
- 4 図やスケッチで見える形にする
方向性をまとめ、次の一歩を考える

みんなの視点で
新しい可能性を
広げよう！



会場

川崎市川崎区日進町5-1
川崎市複合福祉センターふくふく 1 階
地域交流スペース

お問合せ

Kawasaki Welfare Technology Lab (ウェルテック)
TEL 044-223-6468
info@kawasaki-weltech.com

参加申込

締切：令和8年11月9日(月) | 参加費：無料

※右の二次元コードを読み取って
申込みをお願いします。
※定員になり次第、受付を終了し
ます。



参加申込フォーム

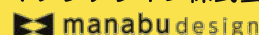
主催

川崎市・東京科学大学・産業技術総合研究所



企画協力

マナブデザイン株式会社

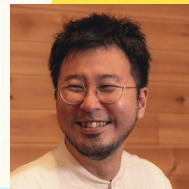


講演プログラム

1日目

1 マナブデザイン株式会社 代表取締役 高橋 学 氏

「いつものこと」に、課題は隠れている。
ー 現場の違和感から考えるデザインの視点 ー



2 WHILL株式会社 執行役員 メディカル事業本部 本部長 池田 朋宏 氏

デザインとテクノロジーが叶える移動支援のかたち
～利用者の自立と支援者のケアを両立する電動モビリティ～

+ 最新モデル WHILL Model C Lite 試乗体験



3 国立大学法人 東京科学大学 工学院機械系 西田 佳史 教授

「生活セントリックデザイン思考とABC理論」

※ABC理論は、現場で起きる課題を「人・現場・道具」の関係から整理し、より安全で使いやすい製品・環境・しくみにつなげる考え方です。



タイムスケジュール

1日目

セッション1

13:30 ～ 13:35 開会挨拶

13:35 ～ 14:15 マナブデザイン 高橋氏 講演

休憩10分

セッション2

14:25 ～ 14:55 WHILL 製品化実例講演

14:55 ～ 15:15 最新モデル
WHILL Model C Lite 試乗体験

休憩10分

セッション3

15:25 ～ 15:40 東京科学大学 西田教授 講演

15:40 ～ 15:45 グループごとのテーマ設定・
ゴールの共有

15:45 ～ 16:05 第2回目に向けたWSの
テーマ共有・決定

16:05 ～ 16:10 クロージング・次回の案内

16:10 ～ 16:30 交流タイム

2日目

13:30 ～ 13:35 1日目の振り返り

ワークショップ

13:35 ～ 13:45 (1)テーマと役割の再確認

13:45 ～ 14:10 (2)現場の「事実」を具体化する

14:10 ～ 14:30 (3)困りごとの背景を探り、
“問い”に変える

休憩10分

14:40 ～ 15:05 (4)視点を強制的に変えてみる

15:05 ～ 15:35 (5)解決の可能性を広げる

15:35 ～ 15:55 (6)アイデアが見える形にする

15:55 ～ 16:10 グループごとに発表

16:10 ～ 16:20 クロージング

16:20 ～ 16:30 交流タイム